

外国語科学習指導案

令和5年11月 日 ()

1 単元名 Program7 A Gateway to Japan (SUNSHINE ENGLISH COURSE 2)

2 本単元で扱う領域における「CAN-DO リスト形式」による学習到達目標（第2学年）

聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと
はっきりと話されれば、天気予報などについて、必要な情報を聞き取ることができる。	製品の取扱い方などについて、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができる。	映画、テレビ番組などについて、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができる。	映画、テレビ番組などについて、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができる。	映画、テレビ番組などについて、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができる。
はっきりと話されれば、最も思い出に残っている学校行事などについて、話の概要を捉えることができる。	外国の中学生が紹介する学校生活のことなどについて、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができる。	生徒の興味・関心の対象となることなどについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。	生徒の興味・関心の対象となることなどについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。	生徒の興味・関心の対象となることなどについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。
はっきりと話されれば、エネルギー問題などについて、短い説明の要点を捉えることができる。	自然環境問題などについて、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができる。	エネルギー問題などに関して、聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる。	I C T の普及などに関して、聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができる。	世界情勢や科学技術などに関して、聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができる。

3 単元における指導構想

○教材観

本単元は、真央とダニエルの会話の中で、イタリアでスポーツ記者をしているダニエルのおじについての場面から始まり、続いて、日本の漫画やポップカルチャーについて健が発表するという内容となっている。

言語材料としては現在完了形（経験・完了用法）が扱われていて、過去のある時点での自分の行動についての表現も用いながら単元末の発表をすることができると考えている。

○生徒観

本学級の生徒は、活発で英語に対して積極性をもっている生徒が多い。間違いを恐れる様子はなく自分の意見や考えを相手に伝えることができるが、中には苦手意識をもつ生徒も見受けられる。そこで、本単元では「話すこと [発表]」を最後の活動で取り入れ、自分の好きなことやものについての思い入れや気持ちなどについて、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話す力を養いたい。

○指導観

本単元は、日本のポップカルチャーについて真央とダニエルが話している場面から始まる。ダニエルのおじがイタリアにおり、漫画やアニメなどの日本のポップカルチャーがとても好きである。このように外国人が日本のことについて興味をもっているということや、日本は世界に誇れる伝統的な芸術などがあるということについても学ぶことができる。言語材料は繰り返し練習することで定着していくので、活動をたくさん取り入れながら現在完了形（経験・完了用法）を用いて、「話すこと [発表]」の育成をめざしたい。

4 単元の目標

ALT の先生に自分のことをより知ってもらうために、自分の好きなポップカルチャーについて自分の気持ちなどを簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を発表することができる。

5 単元の評価基準（「話すこと [発表]」の評価基準）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<知識>現在完了形（経験・完了用法）の意味や働きを理解している。 <技能>現在完了形（経験・完了用法）の意味や働きの理解をもとに話す技能を身に付けている。	自分のことをより相手にわかってもらえるように、自分の好きなポップカルチャーを ALT の先生に対して簡単な語句や文を用いて話している。	自分のことを相手にわかってもらえるように、自分の好きなポップカルチャーを ALT の先生に対して簡単な語句や文を用いて話そうとしている。

6 指導と評価の計画（8時間）

時 間	ねらい（■）、言語活動（丸数字）	評価			備考
		知	思	態	
1	■単元の目標を理解する。 ■Scene1 について表現がどのように使われているか気付く。 ①Small Talk で日本のポップカルチャーについて理解を深める。 ②現在完了形完了の使い方を漫画の吹き出しの空欄を見て、どのように使われているか学ぶ。				
2 本時	■ピクチャーカードを用いて本文の内容を理解する。 ①What's this? Game で連想力を育てる。 ②新出単語を導入する。 ③Program 7 の本文の音声を聞き、リスニングだけでピクチャーカードを並び替える。 ④マッピングシートとパワーポイントを用い、リテリングの練習をする。				
3	■Scene2 について表現がどのように使われているか気付く。 ①Small Talk で日本のポップカルチャーについて理解を深める。 ②現在完了形経験をういて中学校の先生バージョンで 3 hint quiz を出題する。 ③現在完了形経験の文の作り方についてペアと相談する。				
4	■本文の内容を確認し、アクセントやイントネーションに気を付けて音				

記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動を見届ける。

	読をする。 ①What's this? Game で連想力を育てる。 ②Think1～3 の内容を口頭で確認する。 ③3 人グループで発音の確認をする。 ④全体で音読をし、適宜発音指導をする。 ⑤マッピングシートを用い、リテリングの練習をする。				
5	■Scene3 について表現がどのように使われているか気付く。 ①Small Talk で日本のポップカルチャーについて理解を深める。 ②現在完了形経験を用いて事前アンケートを基に生徒バージョンの 3 hint quiz を作成する。 ③ペアと 3 hint quiz を出し合い、適宜ペアを変え伝え合う。				
6	■本文の内容を確認しながら Program7 で学んだ内容をふまえて自分の言葉で話せるようにまとめる。 ①What's this? Game で連想力を育てる。 ②Think1～3 の内容を口頭で英語で確認する。 ③マッピングシートの英単語とパワーポイントの写真を確認し、リテリングの練習をする。				
7	■発表の本番のために、マッピングシートとパワーポイントを確認し、発表練習の仕上げをする。 ①3 人グループで発表練習をする。 ②グループで良かった点や改善点を話し合う。 ③改善点を見直し、発表練習をする。				
8	■ALT の先生に発表をする。 ①3 人グループで練習をする。 ②一人ずつ発表する。	○	○	※1	
9	■後日ペーパーテスト	○			

※1 自分の好きなポップカルチャーについてわかりやすく話している。

7 本時の活動（第2時）

（1）目標

海外での日本文化の人気をほかの人に伝えるために、日本のポップカルチャーについての会話文の概要をとらえることができる。

（2）展開

時間	学習活動	指導上の留意点	評価の場面	評価方法
5分	1. あいさつをする。	・授業開始時から大きな声で挨拶する。 ・数字を大きな声でペアと言い合い、よい		

5分	2. Bingo & Bingo word quiz を行う。	・ 雰囲気づくりをする。 ・ Bingo は生徒をよく見ながらペースを合わせる。 ・ “Can you check my English?” “Sure.” 生徒が言っているかチェックする。		
3分	3. What is this ? game を行う。	・ 即興で積極的にコミュニケーションをとるように指導する。		
5分	4. Program7 の本文全文のリスニング問題を聞く。	・ 本文全てを聞き、簡単なリスニング問題 3問をペアで協力しながら解く。		
	海外での日本文化の人気をほかの人に伝えるために、日本のポップカルチャーについての会話文の概要をとらえよう！			
8分	5. Program7 の本文を聞き、7枚のピクチャーカードを並び替える。	・ タブレットを使用し、Excel に添付してある順番をバラバラにしたピクチャーカードをリスニングだけで並べ替える。その後全体で確認する。		
7分	6. 新出単語を導入する	・ 本文の内容をもう一度ペアと確認し、全体でも確認する。		
15分	7. ピクチャーカードについて話し合うペア活動を行う。	・ マッピングシートを活用し、リテリングの際に必要な英単語や絵を考える。		
2分	8. まとめ	・ 今回の授業で良かった点を生徒に伝える。		

8 評価及び指導の例（「話すこと」[発表]）

「十分満足できる」と判断される状況(a)	現在完了形（経験・完了用法）の意味や表現の仕方について理解し、簡単な語句や文を用いて自分の好きなポップカルチャーの魅力が伝わるように、具体的に ALT に話している。
「おおむね満足できる」状況(b)を実現するための具体的な指導	現在完了形（経験・完了用法）の意味や表現の仕方について理解し、簡単な語句や文を用いて自分の好きなポップカルチャーの魅力が伝わるように、ALT に話している。
「努力を要する」状況(c)と判断した生徒への事後指導	個別指導をして、現在完了形（経験・完了用法）の意味や表現の仕方について再度確認し、「おおむね満足できる」(b)を達成できるようにする。